

**COME BACK! めいろうの夏!**



**令和5年8月1日**

**第24回めいろう夏まつり開催!  
会場の熱気もワクワクも最高潮!  
ご来場ありがとうございました!**



# あふれる子たちの笑顔に 障害者と共に子育てを担う



社会福祉法人光明会  
理事長 小澤 定明

## 子たちの夏の思い出を守り続けたい

めいろう夏まつりは新型コロナウイルス感染症の拡大により、3年間の中止を余儀なくされ、今年は4年ぶりの開催となりました。ここでは4年ぶりの再開にあたる私の思いを皆様にお伝えいたします。

めいろう夏まつりを中止してきた間「めいろう夏まつりはまだかまだかの声に何としてでも応えたい」という思いが年々強くなってまいりました。令和4年11月には障害者支援施設明朗塾において利用顧客および職員の合計30名にも及ぶ新型コロナウイルスの集団感染が発生しました。その後も収まることのない感染の報に接し、地域の皆様の期待に応えたい思いと感染を抑えたいという思いが拮抗し、答えの出ぬ日々を送っていました。かくいう私も昨年の暮れに感染し年末年始は自宅にて隔離生活を余儀なくされ、毎年欠かさず行っていた利用顧客への新年のあいさつ、親戚との年始の集まりも行うことができず、孫の顔を見ることさえもできませんでした。10日間にも及ぶ自宅隔離生活でこのままでは古き良き伝統が失われてしまう、二度とない子たちの夏の思い出が奪われてしまうことへの強い危機感にさらされました。目をつむると浮かぶのは子たちの笑顔でした。そこで決意したのです。新型コロナウイルスに負けず、万難を排し利用顧客と共にめいろう夏まつりを再開させることを。

## 子は世の宝 子育ては地域で行うもの

光明会の経営方針書には「子たちの夢づくりの貢献」として、大人には自分の子だけでなく全ての子を育てる義務があるとまとめています。もちろんこの大人には障害者も含まれます。自分たちの地域の教育にすべての大人が連帯して責任を持つべきであります。この責任は当然のことながら障害者にもあります。「我が子だけには幸せになってもらいたい」という願いは純粹ではありますが、当然これだけでは空しいものです。

光明会の利用顧客への感染を防ぐことは至極当然なことであり、最も重視しなければなりません。ただそれだけでは、大人として義務を果たしたとは言えません。

このことから私は副理事長の小澤啓洋に感染対策をおろそかにせず、万全を期したうえでめいろう夏まつりを再開させることを指示しました。

## 決意と行動の先に未来は拓かれる

めいろう夏まつりの企画から当日の様子については次ページ以降に実行委員長を務めた藤井勇二がまとめていますので、ぜひそちらをお読みください。

当日は正午ごろからは一寸先が見えぬくらいの豪雨に見舞われ、一時は荒天による中止の思いも過（よぎ）ったところでしたが、開会前にはまぶしいほどの夏空が広がっていました。この雨により、気温も前日と比し10度近くも下がり、心配した猛暑も落ち着き、過ごしやすい気温となりました。めいろう夏まつりはこれまで天候による中止は一度もありません。今年もまたご先祖様や光明坊の土地神様がお守りくださったのだと思いました。

開会後は私が夢にまで見た子たちの笑顔であふれていました。少子化はどこ吹く風かと思わせんばかりのたくさんの子たちが来場してくれました。そして、来賓としても八街市長北村新司様をはじめ多くの国会議員、市町村長、県会議員や市議会議員の皆様にご来場いただき、ありがたいご祝辞を頂戴いたしました。また多くの皆様からご芳志を頂戴いたしましたこと、この場をお借りし心からの御礼を申し上げます。

## めいろう夏まつりを開催する意義を改めて問う

今年は大きな事故もなく開催することができましたが、お子さまの怪我や周辺道路の渋滞など安全対策において多くの課題が残されたのも事実です。社会福祉法人光明会が障害者と共に開催するこのめいろう夏まつりの意義をここで改めて問いたいと思います。

今年はユニバーサルイベント※の要素を取り入れた企画を進めてきましたが、このことにおいても十分な

配慮が行えたのか、という満足のものではありませんでしたから、次回の第25回めいろう夏まつりの開催に向けたPDCAを今すぐに着手することを指示したところです。

めいろう夏まつりが「人と地域がつむぐ心豊かな福祉社会をデザインする」ことにつながることを期待しています。職員たちは必ずや実現してくれるものと信じておりますので、令和6年8月1日にはぜひとも進化ではなく、本質的な意味で深化しためいろう夏まつりにご期待ください。

※ ユニバーサルイベントは参加するすべての人が、困難なく快適に参加することが可能で充実したコミュニケーションが実現できる空間でなくてはなりません。高齢者や障害のある人はもちろん、様々な性別、国籍の方も楽しく参加できるイベントです。

# 原点継承と時流適応が 不確実性への突破力を生む

副理事長 小澤啓洋  
(CEO・最高経営責任者)



## 創業者の志と生きざまを伝え続ける

光明会は令和5年10月15日に法人創立25年を迎えます。創業当時から理事長を務められた小澤定明理事長の艱難辛苦は筆舌に尽くしがたいところではありますが、それを物心両面でお支えくださった方々がいらっしゃったおかげで光明会の今日があります。このことについては決して忘れてはならぬものであり、創立50年後の職員に小澤定明の生きざまと共に伝えたいと株式会社S・Yワークスの支援を受け「ABOUT HIM」という冊子を作成しています。物事には変えてはならぬものと変えなければならないものがあります。変えてはならぬものを、伝え続けなければならないものを「ABOUT HIM」にまとめました。完成した折にはぜひとも読者の皆様にご覧いただきたいと思っております。

また令和5年6月21日に開催された第91回定時評議員会において任期満了のため、新たな理事・監事が選任（すべて重任）されました。その折、これまで以上に小澤定明理事長を補佐し共に法人を代表していくための副理事長職を創設し、小澤啓洋が拝命いたしました。

「人と地域がつむぐ心豊かな福祉社会をデザインする」ためには創業者の志と生きざまを後世に伝え続けていくことが、そのための制度や仕組みを創造することが副理事長としての最も重要な役割であります。

## 地域の課題解決のために事業を変化させる

### 令和5年11月1日「ウエルネス倶楽部・明朗カレッジ」が誕生！

就労移行支援事業（標準利用期間2年間）は求職者の雇用環境の変化に伴い、全国的にもその数を減らしています。光明会においても特に就職するなら明朗アカデミー・八街キャンパスの利用顧客者数の減少が顕著であり、令和5年度は定員20の半数程度を推移している状況にあります。また利用顧客についても短期間の支援や訓練を経て、一般就労に結びつく方は少なく、中長期的な支援や訓練が必要となる方が多くいらっしゃいます。現在の標準利用期間が設定された就労移行支援事業では多様化する利用顧客の期待に応えていくことが困難となっています。そこで、就職するなら明朗アカデミー・八街キャンパスにおいては令和5年11月1日より、従来の就労移行支援事業定員20を10名へと半減させ、新たに就労継続支援事業B型定員10名を追加します。働くことで得られる報酬（工賃はその一部に過ぎません）を得ながら経験を積み、就職を目指す事業所に変革させることといたしました。

事業所名も新たに「ウエルネス倶楽部・明朗カレッジ」とし、生まれ変わります。ウエルネスには「より生き生きとした人生を積極的に目指す」、倶楽部には「ともに楽しむ」という意味があります。ウエルネス倶楽部に関わる地域の皆様と共に人生をより積極的に楽しむというメッセージを込めました。ウエルネス倶楽部は「人に、地域に貢献する活動」を通して人生を豊かにいたします。

また今後は「ウエルネス倶楽部・駄菓子屋あみゅーず」を開設し、お子さまも大人も楽しめるコミュニティを目指します。さらには「ウエルネス倶楽部・ヘルプデスクおーるうえいず」を開設し、地域の皆様のお困りごと（お庭の手入れやお家の片づけ、犬の散歩など）を利用顧客とともに解決していく地域貢献活動に取り組めます。会員向けのフィットネスジム・サイクルハウスも「ウエルネス倶楽部・サイクルハウス」として生まれ変わります。今まで以上に会員サービスに利用顧客が関わらせていただくこととなりますので、ご了承ください。

# めいろうの夏は終わらない COME BACK！めいろうの夏！ ©吉田翔

令和5年8月1日（火）に4年ぶりとなる第24回めいろう夏まつりを開催しました！4年の月日に企画・準備の記憶は薄れ、過去の記録や記憶を思い出しながら来場者の皆様に最高の笑顔で安心して過ごしていただけるように職員一丸となって準備を進めてまいりました。

めいろう夏まつり当日はたくさんのご来賓からご祝辞をいただき、出演者の方々にはステージイベントを大いに盛り上げていただきました。模擬店にも多数ご出店いただきました。新しい取り組みとして1,000人鍋の無料提供を行い、これも大好評でした。またお子さまにはポッチャやモルックなどのニュースポーツ体験、シャボン玉アートなどさまざまな体験ブースも大盛況でした。

そして恒例の盆踊り、そして八街最大大花火！大花火の演出では、ストリートピアノ演奏と前田優奈様の生歌が夜空に響き渡り、来場者の方々に感動をお届けすることができたものと思います。来場者数のカウントは行うことができませんでしたが、過去最高人数ではないかと思えます。ご来場、ご協力いただきました皆様にこの場をお借りして、心からの御礼を申し上げます。

次回開催に向けては今年の反省を踏まえつつ、今ここから企画を進めてまいります。ぜひ令和6年8月1日にはめいろう夏まつりをご予定ください。（文責 サービス管理責任者 藤井勇二）

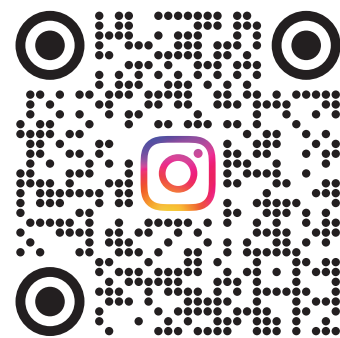


## めいろう夏まつりスナップ写真集





八街最大大花火の動画は、こちらのQRコードからご鑑賞いただけます！



8月5日にシェアされた投稿  
作成者：SUZUSHIN.872

めいろう夏まつりは、夏まつりスタッフ（運営ボランティア）の皆様の力なくして成り立ちません。今年は4年ぶりの開催でしたが、地域のボランティア団体の皆様をはじめ、大学生、中学生、小学生の方までたくさんの方々にご協力いただき、無事に終えることができました。夏まつりスタッフの方々も休憩時間を活用し、それぞれに夏まつりを楽しいでいただけたことを嬉しく思います。来年も夏まつりスタッフにご協力いただき、共に夏まつりを創り上げていきましょう。ありがとうございました。（文責 副施設長 幸島 繁）



障害者雇用への想い

「戦力として育てあげる」

コルザホースクラブ

▲松元裕子様

▲塚本めぐみ氏

「馬も人も、ともに健康で楽しく過ごせることを目指しています」

(コルザホースクラブ 公式ホームページより引用 <https://colza-horseclub.com>)

コルザホースクラブは、2005年2月に千葉県八街市で設立された会員制の乗馬クラブです。

乗馬ビギナーの方が気軽に参加できる体験乗馬から、本格的に乗馬をしたい方に向けて乗馬ライセンスを取得できるコースまで幅広く手掛けています。乗馬クラブを営む他に、全国でも数少ない療育乗馬を取り入れた放課後等デイサービス事業所「ホースプラネット」を運営して、通所されている子どもたちが馬と触れ合う機会を提供しています。

コルザホースクラブ代表者の塚本めぐみ氏は「馬を通して癒しを感じていただき、居心地のよい空間をつくるように心がけています。」と話されています。

(このたびは、コルザホースクラブ代表の塚本めぐみ氏へインタビューを行いました)

**小さな変化に気づく力を養う** (塚本めぐみ氏)

現在は2名の障害のある方を雇用しています。療育手帳を持っている方が働かれています。

主な仕事内容としては、馬が過ごしている厩舎の清掃業務、草取り作業、また乗馬に訪れるお客様が利用するトイレや休憩スペースの清掃を担当されています。

心がけていることは、仕事内容を明確にして伝え、曖昧な言葉による指示は出さないようにしています。また、プレッシャーにならないように終わりの時間は伝えないようにしています。

はじめはひと工程終わるまでに30分近くかかっていた方が、今ではご自身で段取りを決めて作業を進めることができます。一人前のスタッフとして育てるためには「待つ」姿勢を持たねばならないと感じています。



▲笑顔で馬と関わっている松元裕子様



▲塚本めぐみ氏

また、他従業員や来訪されるお客様には障害のある方がスタッフとして働いていることを伝えています。配慮すべき方であることを前提として捉えているためです。そのことは一般のお客様も理解してくださっています。一般のお客様と挨拶をする場面や声をかけられることもあります。一般のお客様との交流を通じて他者に認められていることを実感し、スタッフとして誇りを持って仕事をしてほしいと願っています。

馬は言葉を発することができないゆえに、気を配る場面が多くあります。特に健康面には気を付けるようにしています。障害のある方は、自分で発信することが苦手で、具合が悪いときに頑張りすぎてしまうことがあります。そのような場面を見たときは、仕事量を調整することや、時にはお休みしていただくこともあります。小さな変化に気づく力を自らが持てるように努めています。馬を飼育してきた経験が、障害のある方との関わりに活かしています。

### 障害者雇用は見守る姿勢がカギである（塚本めぐみ氏）

障害者雇用を知ったきっかけは、数年前に「障害者雇用って何だろう」と興味を持ったことがはじまりでした。

馬の業界は慢性的な人手不足が課題となっています。そこで、障害のある方が馬との関わりを通じて働く場を得られれば、双方にとってメリットがあるのではないかと感じ、障害者雇用をやってみようと思ったのです。

その後、障害者就業・生活支援センター就職するなら明朗塾との出会いを通じて、障害のある方の雇用を行い、現在も定着支援を通して繋がりを持っています。

現代社会は人手不足が深刻化しています。女性の社会進出や高齢者の再雇用制度を通じて現役で働かれている方は多くおられます。次のマーケットは障害者雇用に着目しています。世間的にも注目されていると感じます。

障害のある方の仕事を考える際に、何の業務を担当していただくか悩まれているケースが多いと伺います。障害特性によって、行える業務内容は異なります。ご本人へのヒヤリングやスタッフ間での研修を通じて、適材適所を見極めて人を配置する必要があると感じています。時には、辛抱強く見守りが必要な場面もあることでしょう。その方が「戦力」となって成長することを見据えて「見守る」姿勢を持つことがカギになると思います。

（文責 就業支援担当 吉田 翔）

# 資格取得をもっと身近に！

## 就職するなら明朗アカデミー・成田キャンパス ～MOS試験会場登録認定～

令和5年7月1日より、就職するなら明朗アカデミー・成田キャンパスは、株式会社オデッセイコミュニケーションズ認定のMOS試験会場登録を行いました。MOSとは国際資格の一種で、マイクロソフト社製のオフィスソフトであるWord(ワード)やExcel(エクセル)の使用スキル証明となる資格です。正式名称はMicrosoft Office Specialist(マイクロソフト オフィス スペシャリスト)といいますが、一般的にMOSの略称で知られています。

就職するなら明朗アカデミー・成田キャンパスの短期ICTスクールでは、MOSのWord・Excel資格取得を目指し、インストラクターによる少人数指導のもと、学習講座を開講しています。

MOS試験会場登録ができたことで今後は、普段学習している教室でそのまま受験できるようになりました。是非この機会にMOSの資格を取得し、自信とスキルを養い就職という「夢」を共に叶えましょう。就職するなら明朗アカデミー・成田キャンパスでは「挑戦」されるお客様を全面的に応援します。皆さまの受講をお待ちしております！  
(文責 キャンパス長 高木夢貴)

### New Face★新人職員紹介★

#### インディペンデンス(GH) 世話人



せ や かずひで  
★瀬谷 和秀★

○趣味：読書  
リサイクルshop巡り

#### ○コメント

お客様に誠心誠意の対応を心掛け、一生懸命に働き、楽しく充実した生活を送っていただけよう最大限の支援に励んでまいります。

#### 明朗塾 指導員



おおの じゅんこ  
★大野 順子★

○趣味：スタバ、アニメ鑑賞  
コロコロ(掃除)

#### ○コメント

毎日楽しくお客様支援を頑張っています。指導員業務はたくさんありますので、早く覚えて先輩指導員のように、確実にできるようになりたいと思います。

#### 明朗ワークス 指導員



うちやま めぐみ  
★内山 恵美★

○趣味：休日のNETFLIX一気見  
○コメント

指導員の皆さんと共に明るく元気よく、お客様支援に取り組んでいきます。失敗を恐れずに頑張りますので、足を引っ張ってしまった際には何とぞご容赦ください。